

Z会東大進学教室

中2 選抜東大英語

中2 英語



## 解答 Day 1 LESSON1

### Check 1

- 1) (私が) 君のために歌を歌いましょうか。－ええ、お願いします。  
・ Shall I …? は「(私が) …しましょうか」という申し出。
- 2) (一緒に) 散歩しましょう。－いや、やめておきましょう。外は寒いので。  
・ Let's … は Shall we …? とほぼ同意で「(一緒に) …しましょう」と勧誘を表す表現。答え方は let's を用いて、Yes, let's. (そうしましょう。) / No, let's not. (やめましょう。) などと表現する。
- 3) 私と一緒にテニスをしてくれますか。－残念ながらできません。
- 4) 窓を開けていただけますか。－もちろんです。  
・ Will you…? は勧誘や依頼を表す表現。依頼を表す場合 please をつけると少し丁寧になる。

### Check 2

- 1) Could you read more slowly?
- 2) Would you write your name here?  
・ Could [Would] you …? はていねいな依頼の表現。
- 3) I'm afraid I can't. I have no pen now.
- 4) I would like to meet her.
- 5) Would you like to come to my party?  
・ would like to … で want to … よりもていねいな表現。

### Check 3

- 1) had to  
(あなたは昨日そのチケット代金を払わないとなりませんでした。)
- 2) has to  
(彼女は今日5時前に帰宅しないとなりません。)
- 3) have to  
(私はスイミングのレッスンを受ける必要はありません。)
- 4) have to  
(デイビッドとミカはこの前の月曜日に、働く必要はありませんでした。)
- 5) have to  
(スーザンは明日昼食を作らなくてはならないですか。)

**Check 4**

## 1) ①述語 (動詞) ②副詞

- ①runs は主語の行動を表す語なので述語 (動詞) .
- ②fast は述語 (動詞) runs を修飾する語なので副詞.

## 2) ①述語 (動詞) ②形容詞 ③名詞

- ①has は主語の行動を表す語なので述語 (動詞) .
- ②many は名詞 books を修飾する語なので形容詞.
- ③books は物を表す語なので名詞.

## 3) ①述語 (動詞) ②形容詞 ③名詞 ④名詞

- ①bought は buy の過去形. 主語の行動を表す語なので述語 (動詞) .
- ②green は名詞 sweater を説明する語なので形容詞.
- ③sweater は物を表す語なので名詞.
- ④store は物を表す語なので名詞.

## 4) ①名詞 ②述語 (動詞) ③副詞 ④副詞

- ①father は人を表す語なので名詞.
- ②got は get の過去形. 主語の行動を表す語なので述語 (動詞) .
- ③very は副詞 early を修飾する語なので副詞.
- ④early は述語 (動詞) got を修飾する語なので副詞.

**Check 5**

## 1) She が主語 (S), looks が述語 (動詞) (V), happy が補語 (C) :

## 第2文型

- ・「彼女は幸せそうです。」の意.

## 2) You が主語 (S), swim が述語 (動詞) (V) : 第1文型

- ・very fast は修飾句 (副詞句) .
- ・「あなたはとても速く泳ぎます。」の意.

## 3) They が主語 (S), have が述語 (動詞) (V), many books が目的語 (O) : 第3文型

- ・「彼らはたくさんの本を持っています。」の意.

## 4) I が主語 (S), feel が述語 (動詞) (V), sick が補語 (C)

## : 第2文型

- ・「～と感じる」は feel ～.
- ・「私は今日は具合が悪く感じます。」の意.

## Exercises

(1)

- 1) ドアを開けましょうか。—はい、お願いします。
- 2)一緒にそのテレビ番組を見ませんか。—いいですよ。
- 3) 静かにしてくれますか。—もちろんです。
- 4) 靴を脱いでいただけますか。
- 5) 座っていただけますか。
- 6) 私は有名な歌手になりたいです。
- 7) 私と一緒に来てくれませんか。—残念ですが、行けません。
- 8) クッキーをどうですか。—いいえ、結構です。
- 9) 湖に釣りに行きませんか。—残念ながら行けません。私は歯医者に行かないとまらないのです。

(2)

- 1) We have to study English every day.
- 2) Does Yuka have to buy a new camera? —No, she doesn't (have to).
- 3) Will Tom have to save money? —No, he won't (have to).
- 4) You don't have to go to the dentist today.
- 5) They had to use that old computer.

(3)

- 1) Nick doesn't have to send an e-mail.
- 2) You must buy that dictionary.
- 3) You must not open this box.
- 4) Did they have to cut down those trees?

(4)

- 1) C
  - ・主語 (I) を説明している。「私はアユミです。」
- 2) O
  - ・述語 (動詞) like 「～を好む」の対象 (～にあたる部分) を表している。「私はアユミが好きです。」
- 3) O
  - ・述語 (動詞) know 「～を知っている」の対象 (～にあたる部分) を表している。「私はアユミを知っています。」
- 4) C

- ・主語 (She) を説明している。「彼女は美しい女性です。」

5) C

- ・主語 (She) を説明している。become ～は「(変化して)～になる」。  
「彼女は美しい女性になりました。」

6) O

- ・述語 (動詞) met 「会った」の対象 (～を) を表している。  
「彼女は美しい女性に会いました。」

(5)

1) 第3文型 (私は犬が大好きです。)

I が主語 (S), love が述語 (動詞) (V), dogs が目的語 (O) .

2) 第3文型 (ボブはたいてい正午に昼食をとります。)

Bob が主語 (S), eats が述語 (動詞) (V), lunch が目的語 (O), usually は修飾語 (副詞), at noon は修飾句 (副詞句) .

3) 第1文型 (彼女はとても上手に泳ぎます。)

She が主語 (S), swims が述語 (動詞) (V), very well は修飾句 (副詞句) .

4) 第1文型 (彼はクラスで一番早く走りました。)

He が主語 (S), ran が述語 (動詞) (V), fastest は修飾語 (副詞), in his class は修飾句 (副詞句) .

5) 第2文型 (あの男性は裕福になりました。)

That man が主語 (S), became が述語 (動詞) (V), rich が補語 (C) .

(6)

1) looked

- ・「～に見える」は look ～, angry は「怒った」.

2) feel

- ・「～と感じる」は feel ～, bad は「(調子が)悪い」.

3) looks

- ・「～に見える」は look ～, delicious は「おいしい」.

4) sounds

- ・「～に聞こえる」は sound ～, interesting は「面白い」.

5) smells

- ・「～においがする」は smell ～, good は「よい」.

6) tastes

- ・「～の味がする」は taste ～.

## 解答 Day 2 LESSON2

### Check 1

- 1) 彼らは京都に行くことにしました.
- 2) 私は将来、野球選手になりたいです.
  - ・ 1) 2) いずれも名詞用法の不定詞で動詞の目的語になっている.
- 3) 彼の本を読むのは面白いです.
- 4) 海で泳ぐのはとても楽しいです.
  - ・ 3) 4) いずれも名詞用法の不定詞で、文の主語になっている.
- 5) 大切なことは注意深く車の運転をすることです.
- 6) 教えることは2度学ぶことです.
  - ・ いずれも名詞用法の不定詞で、5) は文の補語になっている. 6) は To teach は文の主語、to learn は補語.

### Check 2

- 1) He practices the piano every day to be a pianist.
  - ・ 副詞用法の不定詞で「...するために」と目的を表す.
- 2) Why is she studying hard? — To pass the exam.
  - ・ 「...するためです」と目的を答える.
- 3) I was happy to meet him.
  - ・ 「...して～だ」という感情の原因や理由を表す.

### Check 3

- 1) to; drink
- 2) to; read
- 3) to; see [watch]
- 4) to; watch
  - ・ いずれも形容詞用法の不定詞で、名詞を後ろから修飾して「...するための」「...すべき」という意味を表す.

### Check 4

- 1) I want something to read.
- 2) He needs someone to help him with his homework.
- 3) I want something interesting to read.
- 4) Is there anything cold to drink in the kitchen?

・いずれも形容詞用法の不定詞。1) 2) は不定詞が前の不定代名詞を修飾し、3) 4) は形容詞と不定詞の両方が前の不定代名詞を修飾している。

## Exercises

(1)

1) like; to; study

・「...するのが好きだ」は〈like to + 動詞の原形〉で表す。

2) began [started] ; to; eat

・「...し始める」は〈begin [start] to + 動詞の原形〉で表す。

3) To; save

・名詞用法の不定詞が文の主語になっている。

4) to; practice

・名詞用法の不定詞が文の補語になっている。

5) to; meet

・「～に会うために」は「(ロンドンに) 行った」という行為の目的を表すので、副詞用法の不定詞を用いて表す。

6) to; read

・「本を読むためのメガネ」は、形容詞用法の不定詞を用いて glasses to read books とする。

(2)

1) I want to ride a horse.

・「...したい(と思う)」は〈want to + 動詞の原形〉で表す。

2) I got up early to catch the first train.

3) He was happy to get the information.

・「...して～だ」という感情の原因や理由を表す副詞用法の不定詞。

4) Why do they study English?

— To communicate with people all over the world.

・動作の目的は副詞用法の不定詞を用いて表す。

5) My brother wants a computer to use in his room.

・「～で使うためのコンピュータ」ということであるから、形容詞用法の不定詞を用いて表す。

6) I have nothing to do today.

- ・「することが何もない」は「すべきことが何もない」と読み替え、「何も...ない」の不定代名詞 **nothing** を用いて、**have nothing to do** とする。

(3)

1) 私はかばんを買うためにそのデパートに行きました。

- ・副詞用法の不定詞で、「...するために」と目的を表す。

2) 彼らはアメリカに旅行に出かけることにしました。

- ・〈decide to + 動詞の原形〉は「...することに決める」の意を表す。

3) 切手を集めるのは面白いです。

- ・名詞用法の不定詞で、**to collect stamps** は文の主語になっている。

4) 私はこの本を読むために辞書を買いました。

5) あなたは今日、釣りに行く時間がありますか。

- ・**time to ...**は「...する時間」の意。**go fishing** は「釣りに行く」。

6) この店には買うべきものが何もありません。

- ・**things to buy** で「買うべきもの」。nothing を用いると「何も...ない」の意を表す。

(4)

1) We need to help that man.

- ・「...する必要がある」は〈need to + 動詞の原形〉で表す。

2) My brother continued to play the violin.

- ・「...し続ける」は〈continue to + 動詞の原形〉で表す。

3) To study English is a lot of fun.

- ・名詞用法の不定詞を文の主語にする。

4) What do you want to be in the future?

—I want to be a writer.

- ・「...したい(と思う)」は〈want to + 動詞の原形〉で表す。

5) They have a lot of time to watch TV.

- ・「...するための時間」は **time** の後に、形容詞用法の不定詞を用いて表す。

6) Is there anything to drink in the fridge?

- ・「(…に)～があります」は〈There is [are] ～ (+場所を表す語句).〉で表す。「飲み物」は「飲むための何か」ということ。「冷蔵庫には」は **in the fridge**。



(5)

1) (ウ)

- ・「この問題に関してできることはありません。」の意。下線部は前の不定代名詞 **nothing** を修飾する形容詞用法の不定詞。

2) (ア)

- ・「この夏には何をしたいですか。」下線部は動詞 **want** の目的語となる名詞用法の不定詞。

3) (ア)

- ・「宿題をすることはとても重要です。」下線部は文の主語となる名詞用法の不定詞。

4) (ウ)

- ・「私はやることが何もありません。」下線部は前の不定代名詞 **nothing** を修飾する形容詞用法の不定詞。

5) (イ)

- ・「彼は仕事をするために今朝早起きました。」下線部は動詞 **got** を修飾する副詞用法の不定詞。

6) (ア)

- ・「何かを学ぶのに最も〔一番〕良い方法は、それをやることです。」下線部は文の補語となる名詞用法の不定詞。

## 解答 Day 3 LESSON3

### Check 1

1) and

・「～そして…」は等位接続詞 and で表す。

2) but

・「～だが…」は等位接続詞 but で表す。

3) or

・「～それとも…」は等位接続詞 or で表す。

4) so

・「～、だから…」は等位接続詞 , so で表す。

5) for

・「～、というのは…だからです」は等位接続詞 , for で表す。

### Check 2

1) and 「走りなさい、そうすれば学校に間に合いますよ。」

2) or 「走りなさい、そうしないと学校に遅れますよ。」

3) and 「早く寝なさい、そうすれば明日は元気になりますよ。」

4) or 「早く寝なさい、そうしないと明日は疲れますよ。」

・「～しなさい、そうすれば…」は〈命令文, and …〉で、「～しなさい、そうしないと…」は〈命令文, or …〉で表す。

### Check 3

1) 私が起きた時、弟は顔を洗っていました。

My brother was washing his face when I got up.

2) 私は宿題を終えたら、本を読みます。

When I finish my homework, I'll read a book.

3) 帰宅したら、手を洗いなさい。

When you come home, wash your hands.

・「…(する)時」は従位接続詞 when で表す。〈when + 主語 + 動詞〉の従節は主節の前にもあとにも置くことができる。また、when などが導く‘時’を表す副詞節の中では、未来のことも現在形で表すことに注意。

### Check 4

1) While

2) after

3) before

- ・「… (する) 間に」は while …, 「… (する) 前に」は before …, 「… (した) あとで」は after … でそれぞれ表す. いずれも従位接続詞で, これらが導く節は主節の前にもあとにも置くことができる.

### Check 5

1) If you study hard, you'll pass the exam.

- ・「一生懸命勉強すれば, 試験に合格するでしょう。」

2) If you take your dogs for a walk, they will be happy.

- ・「犬たちを散歩に連れて行けば, 彼らはうれしいでしょう。」

3) If you don't speak slowly, we can't understand you.

- ・「ゆっくり話さないで, 私たちはあなたを理解できません。」

4) If you don't practice the piano every day, you can't become a pianist.

- ・「毎日ピアノを練習しないと, ピアニストになれませんよ。」

### Check 6

1) (B) 「私は眠くなかったので, 遅くまで起きていました。」

2) (A) 「とても風が強かったので, 私は窓を閉めました。」

3) (D) 「なぜあなたはそんなに怒っているのですか. 一子供たちがうるさいからです。」

4) (C) 「なぜあなたは昨日学校に遅れたのですか. バスに乗り遅れたからです。」

- ・「…なので; …だから」は because … で表す. 理由をたずねる疑問文 Why …? (なぜ…) に対して「～だからです」と理由を答える時には〈Because + 主語 + 動詞 〉を用いる.

### Check 7

1) 雨が降っていましたが, 彼女は歩いてそこに行きました.

2) 彼女は年を取って見えますが, 30 歳です.

3) 彼はとてもお腹が空いていましたが, 朝食を食べませんでした.

4) 弟は宿題をやらなければなりませんでしたが, テレビを見ていました.

- ・「…だが; …だけれども」は though [although] … で表す. though と although は同じように使うことができるが, although の方が堅い言い方とされる.

## Exercises

(1)

1) but

・「～だが…」は等位接続詞 but で表す.

2) or

・「～それとも…」は等位接続詞 or で表す.

3) so

・「～, だから…」は等位接続詞, so で表す.

4) for

・「～, というのは…だからです」は等位接続詞, for で表す.

5) When

・「… (する) 時」は従位接続詞 when で表す.

6) While

・「… (する) 間に」は従位接続詞 while で表す.

7) if

・「もし…ならば」は従位接続詞 if で表す.

(2)

1) so

・～, for … 「～, というのは…だからです」 / ～, so … 「～だから, …」

2) or

・If ～, … 「もし～なら, …」 / 〈命令文, or …〉 「～しなさい, そうしないと…」

3) Before

・～ after … 「…したあとで, ～」 / Before ～, … 「～する前に, …」

4) Though [Although]

・～, but … 「～だが…」 / Though [Although] ～, … 「～だが…」

(3)

1) 私たちは外で野球ができません. というのは, 雨が降っているからです.

・～, for … で「～, というのは…だからです」の意.

2) この薬を飲みなさい, そうすればすぐによくなるでしょう.

・〈命令文, and …〉で「～しなさい, そうすれば…」の意.

3) 駅に着いたら, 私に電話してくれますか.

・when … で「… (する) 時」の意.

4) 彼女は新しいカメラが欲しかったので、買い物に行きました。

・ because … で「…なので」の意。

5) 彼はとても疲れていましたが、バイオリンの練習をしました。

・ although … で「…だが」の意。

(4)

1) When I got home, my father was reading the newspaper.

・ 「… (する) 時」は従位接続詞 when で表す。

2) While my mother was washing the dishes, I was listening to music.

・ 「… (する) 間に」は従位接続詞 while で表す。

3) After I had dinner, I took a bath.

・ 「… (した) あとで」は従位接続詞 after で表す。

4) Before she sleeps, she always drinks tea.

・ 「… (する) 前に」は従位接続詞 before で表す。

5) If you are free tomorrow, let's play tennis together.

・ 「もし…ならば」は従位接続詞 if で表す。

6) Because [Since ; As] I wanted to see her, I went to her house.

・ 「…なので」は従位接続詞 because で表す。

7) Why do you go to London?

— Because my aunt lives there.

・ 理由をたずねる疑問文 Why ...? (なぜ...) に対して「～だからです」と理由を答える時には〈Because + 主語 + 動詞 ～.〉を用いる。

8) Though [Although] it was snowing, they went shopping.

・ 「…だが」は従位接続詞 though または although で表す。

## 解答 Day 4 LESSON4

### Check 1

1) Do you know that she lives in America?

「あなたは、彼女がアメリカに住んでいると知っていますか。」

2) Do you believe (that) he will pass the exam?

「あなたは、彼が試験に合格すると思いますか。」

3) I don't think that he likes cats.

「私は、彼が猫を好きだとは思いません。／私は、彼が猫を好きではないと思います。」

4) I don't think that she came here.

「私は、彼女がここに来たとは思いません。／私は、彼女がここに来なかったと思います。」

- ・〈that + 主語 + 動詞〉を目的語にとる動詞の疑問文は、主節のみを疑問文にする。
- ・「…ではないと思う」と言う時はふつう that 節ではなく主節を否定形にする。

### Check 2

1) I knew (that) she had three dogs.

「私は、彼女が犬を3匹飼っていることを知っていました。」

- ・主節の動詞の時制が過去の時は、‘時制の一致’で従節の動詞の時制も過去になる。

2) I thought (that) he would be late for school.

「私は、彼が学校に遅れるだろうと思いました。」

- ・主節の動詞の時制が過去の時は、‘時制の一致’で従節の助動詞は過去形になる。

3) I heard (that) he could speak French well.

「私は、彼がフランス語を上手に話せると聞きました。」

- ・主節の動詞の時制が過去の時は、‘時制の一致’で従節の助動詞は過去形になる。

4) He said (that) he plays tennis on Sundays.

「彼は、日曜日にはテニスをすると言いました。」

- ・従節は現在も変わらない習慣を表したいので、時制の一致の原則に従わない。

### Check 3

1) 第1文型

- ・「その赤ちゃんは大声で泣きました。」

The baby がS, cried がV. loudly は文の要素以外で cried を修飾する語。

2) 第2文型

- ・「彼は俳優になりました。」

He がS, became がV, an actor がC.

3) 第3文型

- ・「彼は祖父母を訪ねました。」

He がS, visited がV, his grandparents がO.

4) 第2文型

- ・「彼女は若く見えます。」

She がS, looks がV, young がC.

5) 第3文型

- ・「私は昨日テニスをしました。」

I がS, played がV, tennis がO. yesterday は文の要素以外で played を修飾する語.

6) 第1文型

- ・「彼は友人と動物園に行きました。」

He がS, went がV. to the zoo と with his friend は文の要素以外で went を修飾する語句.

**Check 4**

1) taught ; us

- ・「O1 (人) にO2 (もの) を教える」は teach O1 O2 で表す.

2) told ; me

- ・「O1 (人) にO2 (もの) を話す」は tell O1 O2 で表す.

3) brought ; me

- ・「O1 (人) にO2 (もの) を持ってくる」は bring O1 O2 で表す.

4) chose ; me

- ・「O1 (人) にO2 (もの) を選ぶ」は choose O1 O2 で表す.

5) send ; him

- ・「O1 (人) にO2 (もの) を送る」は send O1 O2 で表す.

6) showed ; them

- ・「O1 (人) にO2 (もの) を見せる」は show O1 O2 で表す.

### Check 5

1) He passed the salt to me.

- ・「彼は私に塩を回してくれました。」「O 1 (人) に O 2 (もの) を手渡す, 回す」は pass O 1 (人) O 2 (もの), または 'pass O (もの) to 人' で表す.

2) He told a lie to us.

- ・「彼は私たちに嘘をつきました。」「O 1 (人) のために O 2 (もの) を話す」は tell O 1 (人) O 2 (もの), または 'tell O (もの) to 人' で表す.

3) She bought books for her children.

- ・「彼女は子供たちのために本を買いました。」「O 1 (人) のために O 2 (もの) を買う」は buy O 1 (人) O 2 (もの), または 'buy O (もの) for 人' で表す.

4) My father got a dog for me.

- ・「父は私のために犬を手に入れてくれました。」「O 1 (人) のために O 2 (もの) を手に入れる」は get O 1 (人) O 2 (もの), または 'get O (もの) for 人' で表す.

### Check 6

1) ウ) - B)

- ・「OをCと名づける」は name OCで表す.

2) オ) - D)

- ・「OをCにする」は make OCで表す.

3) イ) - G)

- ・「OがCとわかる」は find OCで表す.

4) カ) - F)

- ・「OをCとして(選挙などで)選ぶ」は elect OCで表す.

5) ア) - A)

- ・「OをC(の状態)にしておく」は keep OCで表す.

6) エ) - E)

- ・「OをCのままにしておく」は leave OCで表す.

7) キ) - C)

- ・「OをC(の色)に塗る」は paint OCで表す.



**Check 7**1) He sent his grandfather a card.

S V O O (第4文型)

- ・「彼は祖父にカードを送りました。」 his grandfather ≠ a card
- ・〈send + O 1 + O 2〉で「O 1にO 2を送る」.

2) I found her a famous singer.

S V O C (第5文型)

- ・「私は彼が有名な歌手だとわかりました。」 her = a famous singer
- ・〈find + O + C〉で「OがCとわかる」.

3) My aunt made me a pretty doll.

S V O O (第4文型)

- ・「おばは私のためにかわいい人形を作りました。」 me ≠ a pretty doll
- ・〈make + O 1 + O 2〉で「O 1にO 2を作る」.

4) This experience made him a scientist.

S V O C (第5文型)

- ・「この経験は彼を科学者にしました。」 him = a scientist
- ・〈make + O + C〉で「OをCにする」.

**Exercises**

(1)

1) hear ; that

- ・「…ということをうわさに聞いている ; …だそうだ」は hear that … で表す.

2) don't ; think ; that

- ・「…ではないと思う」と言う時はふつう that 節ではなく主節を否定形にする.

3) Do ; you ; believe ; that

- ・〈that + 主語 + 動詞〉を目的語にとる動詞の疑問文は、主節のみを疑問文にする.

4) said ; that ; was

- ・主節の動詞の時制が過去の時は、'時制の一致'で従節の動詞の時制も過去になる.

5) called ; her

- ・「OをCと呼ぶ」は call OCで表す.

6) named

- ・「OをCと名づける」は name OCで表す.

7) makes ; me ; happy

- ・「OをCにする」は make OCで表す.

8) left ; alone

- ・「OをCのままにしておく」は leave OCで表す.

(2)

1) 第2文型

「彼は野球選手になりました。」

- ・〈S+V+C〉の第2文型の文. a baseball player は補語.

2) 第1文型

「その犬は速く走りました。」

- ・〈S+V〉の第1文型の文. fast は ran を修飾する語.

3) 第5文型

「私たちは彼が親切な人だとわかりました。」

- ・〈S+V+O+C〉の第5文型の文. him は目的語, a kind man は補語.

4) 第4文型

「母は私にジャケットを買ってくれました。」

- ・〈S+V+O+O〉の第4文型の文. me は間接目的語, a jacket は直接目的語.

5) 第3文型

「彼女は台所で夕食を作っていました。」

- ・〈S+V+O〉の第3文型の文. dinner は目的語, in the kitchen は was making を修飾する語句.

(3)

1) to ; me

- ・「O<sub>1</sub>(人)にO<sub>2</sub>(もの)を貸す」は lend O<sub>1</sub>O<sub>2</sub>, または 'lend O(もの) to 人' で表す.

2) for ; us

- ・「O<sub>1</sub>(人)のためにO<sub>2</sub>(もの)を料理する」は cook O<sub>1</sub>O<sub>2</sub>, または 'cook O(もの) for 人' で表す.

3) to ; him

- ・「O<sub>1</sub>(人)にO<sub>2</sub>(もの)を見せる」は show O<sub>1</sub>O<sub>2</sub>, または 'show O(もの) to 人' で表す.

(4)

1) I believe (that) he has a good idea.

・「…だということを信じている」は believe (that) … で表す。

2) Do you think (that) he told a lie?

・〈that + 主語 + 動詞〉を目的語にとる動詞の疑問文は、主節のみを疑問文にする。

3) I don't think (that) he is wrong.

・「…ではないと思う」と言う時はふつう that 節ではなく主節を否定形にする。

4) I knew (that) he was tired.

・主節の動詞の時制が過去の時は、‘時制の一致’で従節の動詞の時制も過去になる。

5) She said (that) she couldn't play the piano.

・主節の動詞の時制が過去の時は、‘時制の一致’で従節の助動詞は過去形になる。

6) My father bought a bicycle for me yesterday.

・「O 1 (人) のために O 2 (もの) を買う」は buy O 1 (人) O 2 (もの) , または ‘buy O (もの) for 人’ で表す。ここでは「第3文型で」という指定があるので、後者を用いる。

7) Tom didn't lend his dictionary to me.

・「O 1 (人) に O 2 (もの) を貸す」は lend O 1 (人) O 2 (もの) , または ‘lend O (もの) to 人’ で表す。ここでは「第3文型で」という指定があるので、後者を用いる。

8) Ken taught us English.

・「O 1 (人) に O 2 (もの) を教える」は teach O 1 (人) O 2 (もの) , または ‘teach O (もの) to 人’ で表す。ここでは「第4文型で」という指定があるので、前者を用いる。

## 解答 Day 5 LESSON5

### Check 1

- 1) 散歩をすることはよい習慣です.
  - 2) ピアノを弾くことは私の楽しみです.
  - 3) 約束を守ることはとても大切です.
- ・いずれも動名詞が文の主語になっている.

### Check 2

- 1) climbing
  - 2) collecting
  - 3) teaching
- ・いずれも動名詞が文の補語になっている.

### Check 3

- 1) enjoyed ; watching
  - 2) finished ; washing
  - 3) stopped ; reading
  - 4) saving
  - 5) crying
  - 6) taking
- ・ 1) ~ 3) は動名詞が動詞の目的語, 4) ~ 6) は動名詞が前置詞の目的語になっている.

### Check 4

- 1) swimming / to swim
- ・ hate は動名詞, 不定詞どちらも目的語にとる動詞.
- 2) going
- ・ give up は動名詞のみを目的語にとる動詞.
- 3) to study
- ・ promise は不定詞のみを目的語にとる動詞.

### Check 5

- 1) is ; good ; at ; playing
- ・ 「…するのが上手である」は be good at …ing.

2) was ; tired ; of ; reading

・「…するのに飽きている」は be tired of …ing.

3) am ; looking ; forward ; to ; seeing

・「…するのを楽しみにする」は look forward to …ing.

4) Would ; you ; mind ; opening

・「…していただけませんか」は Would you mind …ing?.

## Exercises

(1)

1) Chatting

・動名詞 Chatting (おしゃべりすること) が文の主語になっている。

2) growing

・動名詞 growing (～を育てること) が文の補語になっている。

3) practiced ; writing

・practice …ing で「…することを練習する」の意。

4) fixing

・動名詞 fixing (～を直すこと) が前置詞 for の目的語になっている。

5) remember ; going

・remember …ing で「…したことを覚えている」の意。

6) is ; tired ; of

・be tired of …ing で「…するのに飽きている」の意。

7) feel ; like ; crying

・feel like …ing で「…したい気がする」の意。

8) is ; good ; at

・be good at …ing で「…するのが上手である」の意。

(2)

1) singing

・enjoy は動名詞のみを目的語にとる動詞。「彼らは一緒に歌うことを楽しみました。」

2) playing

・give up は動名詞のみを目的語にとる動詞。「彼は1日に何時間もゲームをするこ

とを諦めなくてははいけません。」

3) to come

- ・ promise は不定詞のみを目的語にとる動詞。「あなたは五時までに帰宅すると約束しました。」

4) to be

- ・ want は不定詞のみを目的語にとる動詞。「私は医者になりたいです。」

5) swimming

- ・ remember は、動名詞を目的語にとると「…したことを覚えている」、不定詞を目的語にとると「忘れずに…する」の意。ここでは文意から前者が適切。「あなたは今年の夏に川で泳いだことを覚えていますか。」

(3)

1) 私は彼らと踊ったことを決して忘れません。

- ・ forget …ing で「…したことを忘れる」の意。

2) 釣りに行くのはどうですか。

- ・ How [What] about …ing? で「…するのはどうですか」の意。

3) 私にその地図を見せていただけませんか。

- ・ Would you mind …ing? で「…していただけませんか」の意。

4) 動物を触った後は手を洗いなさい。

- ・ 動名詞 touching (触ること) が前置詞 after の目的語になっている。

5) 彼はギターを弾くことに興味があります。

- ・ be interested in …ing で「…することに興味がある」の意。

(4)

1) Skiing is one of my winter pleasures.

- ・ 動名詞 Skiing (スキーをすること) を文の主語にする。

2) They are looking forward to visiting America.

- ・ 「…するのを楽しみにする」は look forward to …ing で表す。

3) My mother finished listening to music.

- ・ 「…し終える」は finish …ing で表す。

(5)

1) Swimming in this river is dangerous.

・動名詞 swimming (泳ぐこと) 文の主語にして表す.

2) My plan was going to Kyushu by bicycle.

・動名詞 going (行くこと) 文の補語にして表す.

3) He enjoys walking in the park every morning.

・「…することを楽しむ」は enjoy …ing で表す.

4) She went away without saying a word.

・「…せずに」は without …ing で表す.

5) Don't forget to reserve the meeting room.

・「…するのを忘れる」は forget to … で表す.

6) They are looking forward to joining the party.

・「…するのを楽しみにする」は look forward to … で表す.

7) I remembered to water the flowers this morning.

・「忘れずに…する」は remember to …で表す.

8) My sister decided to go abroad.

・「…することを決意する」は decide to …で表す.

2EJSS/2EJS/2ENT

中2 選抜東大英語

中2 英語



Z-KAI

会員番号	
------	--

氏名	
----	--

不許複製